

## 【数研出版 100 周年】

### ー理科のチャート式新シリーズのはじまりー

数研出版編集部

大正末期、「数研出版」の母体となる教育事業体「数学研究社高等予備校」が創設され、1923年(大正12年)出版事業の原点となる雑誌「受験数学」を11月に創刊いたしました。まもなく「チャート式」の源流となる『チャート式代数学』『チャート式幾何学』が発行されると、当時の学生たちの間で評判となり、一世を風靡しました。

その後、太平洋戦争中から丸10年「チャート式」は発行が途絶えておりましたが、1952年に復活し、戦後復興とともに多くの学生に浸透していきました。

#### 1. 理科のチャート式シリーズ

現在の理科チャート式シリーズにつながる本格的な参考書が発行されたのは、1966年のことでした。

理科のチャート式参考書も、数学の方法論を踏襲して編集されましたので、随所に解法や理解のポイントとなるCHARTが挿入され、著者のアイデアによって理科に特有で独創的なCHARTが多く盛り込まれました。



図1 チャート式物理(初版)

例えば、計算問題において明確な公式に相当するものがないところでも、解法の糸口となる内容整理をCHARTとして提示したり、定性的な問題に関しても、同様の見地から、共通性や類似性などを見出しCHARTへと工夫したりして、理科のチャート式がつくられました。

#### 2. 新シリーズの発行

1969年、理科のチャート式シリーズに新しい

シリーズが登場します。それがカラー印刷を実現した「新シリーズ」です。当時、まだカラー印刷といえば巻頭グラビアが主流でしたが、400頁を超える受験参考書をカラー化した「新シリーズ」は画期的でした。



図2 チャート式シリーズ新化学(初版)

カラー化により、学習の理解には欠かせない図版(解説図)の表現力が格段に増加しましたので、今までにない、見やすくわかりやすい図版が掲載できました。また、カラー写真の導入も可能になり、重要な呈色反応や沈殿反応なども提示できました。これによって、自然と印象に残って、学習効果も高まることから、学生から圧倒的な支持を得ていきました。

#### 3. 今も受け継がれるチャート式の精神

理科の新シリーズは、物理・化学・生物において現課程でも発行しています。紙面の見やすさや写真のクリアさは格段に向上しており、内容面でも最新の情報や思考力アップの要素を追加するなどして、より使いやすいものとなっています。

読者にとって、よりわかりやすく、質の高い学びを提供したいという思いは、今も変わらず持ち続け編集しています。

「数研出版 100 周年記念サイト」

100周年を記念してサイトを開設!

<https://www.chart.co.jp/100th/>



サイエンスネット第78号 2023年11月発行(年3回発行予定)

発行所 数研出版株式会社

東京 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目3番地3

京都 〒604-0861 京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町205番地

〔HP〕 <https://www.chart.co.jp> 〔電話〕代表 (075)231-0161

150477



本書は植物油インキを使用しています。